



Vol. 560 令和3年6月

NEWS



NPO 法人 横浜発明振興会

今月の行事

6月「ハマ発明教室」オンライン開催

今月も引き続き新型コロナウイルス感染症対策として、オンラインで開催します。

と き 令和3年6月13日(日)

午後12時45分入室開始

(1時15分までに入室して下さい。)

開始 1時30分～4時30分

ところ ZOOMオンライン上に集合

◎ZOOM参加のURLは、当会ホームページ「会員専用 ハマ発明教室オンライン参加案内」(パスワードあり)に掲載しています。記載のURLをクリックし、参加して下さい。

◎また、メールアドレス登録済の方には、メールでお知らせします。(再連絡希望の方は、当会アドレス info@yokohama-hatsumei.com へご連絡を)

内容 第1部：作品発表とディスカッション

第2部：発明研究会 講師：齋木隆士氏

『世の中にないものを、どのように広めていく』

コンテクトデザイン CONTEXT DESIGN とは・・・事例に学ぶ！文化の成功！金銭的成功！

7月のハマ発明教室 予告

と き 令和3年7月11日(日)

午後1時30分～4時30分

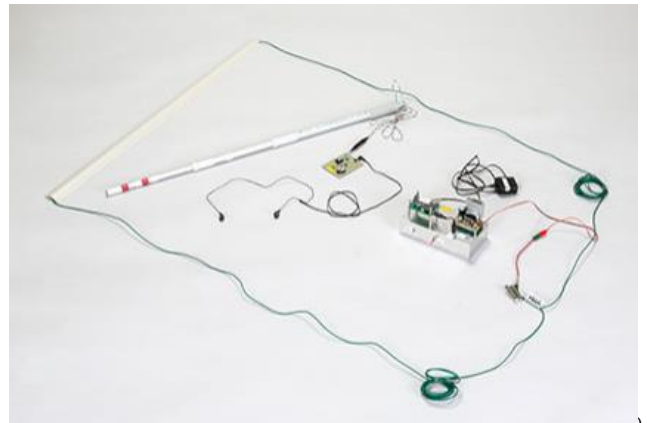
ZOOM オンラインで開催

第1部 作品発表とディスカッション

第2部 発明研究会

○先月に続き、第79回全日本学生児童発明くふう展で受賞された作品を紹介させていただきます。「内閣総理大臣賞」

福岡県立福岡工業高校 高3 高木萌生さん
《作品名：駅ホームで危険域を知らせる装置》
目の不自由な人がこれ以上線路に近づかないよう、白杖先端の磁気センサを通して音声届け、危険回避を補助する作品です。



危険が存心、でも不安だと思えます。特に駅のホームは転落の危険があります。これ以上線路に近づかないよう、知らせることができれば良いと考えました。電線に音声の情報を含んだ電流を流して磁気を発生し、これを白杖の先に設置したインダクタで拾いあげて、音声に変換してイヤホンで聞きとります。電線のループ内では、案内音声が大きくはっきりと聞き取れ、ループの外側では、聞き取り難くなるので、安全区域か危険区域かを知ることが出来ます。昨今、視力障害を持たれた方の転落事故をよく耳にしていますので対策案として有効です。なお、危険伝達を音声ではなく、携帯のバイブレーター振動伝達にするとさらに良いと思います。

(4ページに続く)

6月のハマ発明教室のご案内

第1部 作品発表とディスカッション

第2部 発明研究会

『世の中にないものを、どのように広めていく』
コンテキストデザインとは…

講師：(有)ワッツパテントサービス 齋木隆士氏

第624回オンライン・ハマ発明教室 (日曜発明教室)報告

ZOOMにより5月9日(日)に開催しました。

第一部 令和3年度通常総会

出席：24名 (うち表決委任者12名)

議事：第1号議案 令和2年度事業報告
第2号議案 令和2年度決算報告
第3号議案 令和3年度事業計画(案)
第4号議案 令和3年度予算(案)
第5号議案 令和3年度役員(案)

上記議案について審議し、すべて承認可決されました。

令和3年度役員

名誉会長	林 文子	横浜市長
会長	寺嶋 之朗	
副会長	小峰 一男	
副会長	小林 芳人	
理事	山岸 隆	
〃	大庭 實	
〃	加藤 吉郎	
監事	鋸屋 卓明	
顧問	古川 直季	横浜市議員
特別顧問	松永 宣行	弁理士

第二部 発明研究会

(1)「漫画家から学ぶ発想力」 大庭 實氏

今まで発明研究会で実施してきた企画、「発明の卵」や「発想飛び」の流れの中でみんなに参加してもらいながらゲーム感覚でアイデアを考える発想力を高めるテーマを取り上げていただいた。

以前、当会顧問であった大貫弁理士の「発明原理のお話し」という講演があった際に「発明原理」、例えば「分割原理」や「分離原理」、「組合せ原理」などがアイデアを発想するのにヒントを与えるとの説明を受けた。その中で「組合せ原理」を使って、『鉛筆に消しゴムを取付ける』

というアイデアを発想し大きな財産を作った方がアメリカにおられるが、では会員は発明原理をどのように使っているのかを考えているときに漫画家の植田まさし氏のことがTV放映されて参考になったので紹介していただいた。植田まさし氏は、「コボちゃん」を含め4コマ漫画を40年あまり描き続けられている方で、TV放映では作業部屋が公開され、4コマ漫画を毎日作り出すための37項目のリストが机の前に貼られていた。このリストはアイデアや課題を見出すのに役に立つのではないかと考えて、今回37項目のリストを会員の発想力のトレーニングで試みる企画を試みられた。具体的には、植田氏の4コマ漫画のストーリーを使用し、最初の3コマを見て最後の4コマ目を想像し言い当てるクイズを行い、楽しんだので、以下に数例の内容を挙げます。

(1) ヒントありの場合：

① 「腕カバー」の漫画のストーリー

1コマ目：袖口が汚れている漫画
2コマ目：腕カバーを縫って作っている漫画
3コマ目：左右腕カバーのサイズが異なる漫画

さて、4コマ目の結末漫画は何か？
ヒントは、似ているもの、大きくする、小さくする、何か付け加える、対象を変えてみる、理由を変えてみる。

結末は、顔を隠せる大きな腕カバーを作った漫画でした。すなわち、課長からいつも叱られるので、顔を隠したかった！

② 「腕ずもう」の漫画のストーリー

1コマ目：機械の腕と相撲をしはじめた漫画
2コマ目：機械の腕と相撲を激しく続ける漫画
3コマ目：機械の腕をねじ回していじる漫画

さて、4コマ目の結末は何か？
ヒントは、場所を変えてみる、理由を変えてみる、違うことに試してみる。

結末は、トイレで腕相撲している漫画でした。すなわち、トイレでは下半身に“ウーン”と力が入り、それに合わせて腕の方にも力が入る！

③ 「安全ベルト」の漫画のストーリー

1コマ目：タクシー運転手に乗車を頼む漫画
2コマ目：乗車後運転手からベルト締め催促を受けている漫画
3コマ目：運転手が客にベルトを締めるサービ

スをしている漫画

さて、4コマ目の結末は何か？

③「安全ベルト」の漫画のストーリー

1コマ目：タクシー運転手に乗車を頼む漫画

2コマ目：乗車後運転手からベルト締めの催促を受けている漫画

3コマ目：運転手が客にベルトを締めるサービスをしている漫画

さて、4コマ目の結末は何か？

ヒントは、対象を変えてみる、理由を変えてみる、違うことに使ってみる。結末は、運転手がお客の体中をベルトで縛り付ける漫画でした。すなわち、タクシー強盗を防止するためにお客を縛り上げた！

(2) ヒントなしの場合：

④「自動販売機A」の3コマまでのストーリー：販売機の製造会社の社内で、今後ますます販売

機の設置が増えるので、需要に応えるにはどうするか検討する場面の漫画だが？結末は、自動販売機の自動販売機の漫画でした。

⑤「自動販売機B」の3コマまでのストーリー：切符を買おうとする客が切符売り場の駅員に自動販売機があるからと告げられたので自動販売機の方に向かったが？

結末は、その客は酒に酔っぱらっていて切符売り場の駅員に詰め寄る場面の漫画でした。すなわち、客が向かった先とは酒の自動販売機であった！その他多くのクイズがあったが以下省略します。その結果、植田氏の発想力と会員の発想力を比べると参加した会員は惨敗を喫しました。植田氏は巧み！

2) 「特許審査官に『容易に想到できる』 なんて簡単に言わせない対策研究」

大庭 實氏

1. 取上げた背景：今まで自分のやり方で出願書類や意見書を作成してきたが、合理的ではなかった。そこで、特許の基礎を勉強する必要がある。

2. 対策研究内容：参考書籍として、高橋政治著『進歩性欠如の拒絶理由通知への対応ノウハウ』の一冊を取上げ本を抜粋してお話をいただいた。

・「容易に想到できる」とは、考えた結果その事に容易に行き着くということであって、審査官にどのようにしてそう言わせないようにす

るかというノウハウがこの本に示されている。

- ・拒絶理由で、進歩性欠如の対応が最も難しい。
 - ・審査官は審査基準や進歩性判断のフローを手元に置いて手順に従い判断している。また、審査基準は変遷していて今は H27 年のもので判断される。
 - ・いくら効果があっても新規性がなければ進歩性の判断をするまでもなく特許の取得ができない。
 - ・補正範囲は時期がいつであろうと出願時明細書の範囲であり、明細書は詳細に書く必要がある。
 - ・最終拒絶理由通知に対し補正は減縮のみである。
 - ・意見書を作成する場合の注意点として、
 - ①拒絶理由通知：審査官の認定が誤るのは極稀であり、心証を害することはしないこと。
 - ②補正の内容：引用文献の請求項以外に明細書の中味までよく読み自分の発明と対比すること。
 - ③本発明の内容と引用文献：引用文献を要約すると自分の考えが付け加えられ、引用発明のレベルをかえて向上させるリスクがある。原文のまま記載するのが好ましい。
- 以上、さらなる内容の講演については、時機を見て再度お願いすることになりました。

○展示会情報

・INDUSTRY - FRONTIER 2021

6月23日(水)～25日(金) 10時～17時
東京ビッグサイト 青梅 AB ホール

・第16回ライフスタイル Week【夏】

6月23日(水)～25日(金)
10時～18時(最終日17時まで)

東京ビッグサイト 青梅 AB ホール

・第32回国際文具・紙製品展 ISOT 夏

6月30日(水)～7月2日(金)
10時～18時(最終日17時まで)

東京ビッグサイト 青梅 AB ホール

・第16回国際雑貨 EXPO 夏

6月30日(水)～7月2日(金)
10時～10時～18時(最終日17時まで)

東京ビッグサイト 青梅 AB ホール

○第25回身近なヒント発明展 作品募集中

締め切り：7月10日(土)

今回から「アプリ部門」と「こども発明部門」が追加され、全12部門になりました。

問い合わせ・応募先

(一社) 発明学会「身近なヒント発明展」係

電話：03-5366-8811

○発明協会会長賞

Kind テープ 合志市立合志中学校(熊本県)
3年 清田 和澄さん

荷物が届いた時に貼ってあるテープがはがしにくいと思っていました。そこでものを使わずに簡単に荷物が開けられる



ようにと考え、今回のテープを発明しました。自分自身が荷物を開けるときよりも、こちらが相手に送った時にわたしが不便に思っていることを相手にさせないように考えました。仕組みとしては、ガムテープを貼るときに糸と一緒に貼ることで、箱を開けるときに糸を引くとガムテープで切ることができます。

○毎日新聞社賞

楽しく靴ぬぎ器 町田市立町田第一小学校
(東京都) 6年 富取 秀太郎さん

この器具は、誰でも簡単に立ったまま靴を脱げるようにサポートする器具です。靴を脱ぐ際に座ったり、片足立ちする



必要がないので、高齢者をはじめ、足腰が痛く、座ったり片足立ちする動作が辛い方のサポートができます。また、この器具を使用して靴を脱げば、靴のかかと同じをすり合わせて脱ぐ必要がなくなるので、靴も傷まずに済みます。子どもから高齢者まで理解できるようなユニバーサルデザインを心掛けました。利用者がけがをしないよう、柔らかく、丈夫で滑りにくい素材を用いました。

○毎日小学生新聞賞

雨どいかさ 私立聖徳学園小学校 (東京都)
1年 原田 和さん

この作品は、七月の雨で母が仕事に行くのが大変だったので、靴や服が濡れないよう考えたものです。靴や服を濡らすのは、



主に歩く前後方の雨だれなので、これが傘の横から落ちるように傘の前後に雨どいをつけました。雨水がスムーズに雨どいを流れ、傘に降った雨の大部分が横から落ちることを両立する雨どいの位置を見つけました。使ってみると、傘の横は滝のようですが、目の前の雨だれは無く、水のトンネルのようです。この傘で沢山の人が、雨の日も安心して楽しく歩けるようになればと思います。

当会の金城さんが似たものを TV で紹介してましたね!

○科学技術館賞

Support Wheel 秦野市立大根中学校
(神奈川県) 3年 天野 希乃実さん

この作品は、車椅子を押しながら段差を登る時、補助してくれる装置です。建物の中はバリアフリーが整備されていますが、外だと段差に引っかかってしまい、前輪を持ち上げる力が必要になりとても大変で、車椅子もふらついてしまい、危険です。そこで装置を付ける事でキャタピラ部分が回転して、前輪を持ち上げてくれるため、安定して段差を越える事が出来、車椅子利用者と介助者が安心して小さな段差を気にせずに移動する事が出来ます。

